

Title	阪大法学 64巻 6号 表紙
Author(s)	
Citation	阪大法学. 64(6)
Issue Date	2015-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71554
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

阪大法学

論 説

- 収入金額の計上時期に関する実現主義の意義
——判例分析を中心に——……………谷口勢津夫… 1
- 英国 FCA による市場濫用規制のエンフォースメント ……松尾 健一… 31
- 韓国における公共調達制度の現状と改革 (一)
——ドイツと日本の制度から示唆を得て——……………金 守弘… 67
- 家庭内暴力加害者への対策
——治療プログラムを中心に——……………金ジャンディ…103
- 刑事手続打ち切り論についての一考察 (三・完)
——医療過誤の刑事責任限定論を契機として——……………岩崎 正…131
- 公法学におけるコントロール概念の展開 (二)
——ドイツにおける一九九〇年代以降の議論——……………柴田 堯史…153
- インダス川水系キシエンガンガ計画事件判決の国際法上の意義 (一)
——水力発電計画の合法性及びダム下流における河川環境の法的保護——……………鳥谷部 壤…173
- ウィリアム・オブ・ドロエダと『黄金汎論』(二・完)
——法格言 scienti et volenti non fit iniuria の原点を訊ねて——……………松本 和洋…199
- 行政による規範定立の再定位 (一)
——法規命令と行政規則の法的拘束力の観点からみた再構築——……………宮村 教平…239
- ドイツ連邦行政裁判所の「憲法判断」の考察 (二・完)
——行政法の解釈・適用における憲法の機能——……………原島 啓之…259

判 例 研 究

- 別除権協定の失効とその効果(最判平成二六年六月五日民集六八卷五号四〇三頁)
——裁時一六〇五号一頁、判時二二三〇号二六頁、判タ一四〇四号八八頁、
金法二〇〇七号六〇頁、金判一四四五号一四頁——……………藤本 利一…295

翻 訳

- 中国公安部「公安機関行政事件処理手続規定」……………坂口 一成…309

資 料

- 東アジアにおける法学部教育の可能性 (二・完)
——What is 'legal' Education?——……………林 智良…367
- わが国における法学部教育の状況……………三成 賢次…368
- 東アジアにおける法学部教育の可能性
——韓国の事例——……………朴 賢京…383
金 明珉/訳
- 中国における法学教育の検証
——その本質・役割およびその改革——……………丁 相順…416
- 日越憲法比較シンポジウム——転換期における憲法と社会……………松本 和彦…437
- 日本の違憲審査制の現状と課題
——制度改革をめぐる議論を中心に——……………鈴木 秀美…439
- 日本の裁判所の憲法上の構造と最近の
「ささやかな」司法積極主義……………高井 裕之…453
- ナショナルな立憲主義のジレンマ……………松本 和彦…467

阪大法学六四巻総目次

第64巻 第6号 (2015年3月)

(通巻第294号)

大阪大学法学会

評議員
評議員

議員長

谷田武 武滝高 高高高 高砂 鈴下 島品 重佐坂 坂齋 小久久 木北上 門小 小 大石 池青 青竹
口中 中田 田口 橋橋 橋田 井原 木村 岡田 井間 元口 藤鳥 田保 戸村 川木 島保 田田 木江 中
勢久 規直 邦智 慶明 裕庸 秀眞 ま智輝 一一 由典 安大 衛龍 規辰 大秀
夫仁 雄大 宣剛 也吉 男篤 之介 美美 史忠 修哉 成起 明彦 作一 亘進 昇高 専子 剛夫 也史 浩

(五十音順)

評議員

編集委員
〃
企画委員
〃
会計委員
〃
会計監査

佐水大久高石林和養山村村三水水三松松松松松
久保保橋田 仁老下西上成谷島阪本田川尾井
規規大明 智健真典良正賢規郁佳和岳正健和
修男子作男剛良郎一孝太直次男子弘彦士毅一彦
久保保橋田 仁老下西上成谷島阪本田川尾井
規規大明 智健真典良正賢規郁佳和岳正健和
修男子作男剛良郎一孝太直次男子弘彦士毅一彦

平成二七年三月二日 発行 定価 本体二、〇〇〇円 (税別)

兼 編 行 人 大 阪 大 学 法 学 会
代 表 者 竹 中 浩

〒五〇一〇四三 豊中市待兼山町一番六号
大阪大学大学院法学研究科内
電〇六(六八五〇)五一七八

印刷所
(株)富山房インターナショナル

〒618-0046 京都市南区
吉祥院池田南町一三

発行所 大阪大学法学会

千五〇〇四三 豊中市待兼山町一番六号
大阪大学大学院法学研究科内
電〇六(六八五〇)五一七八